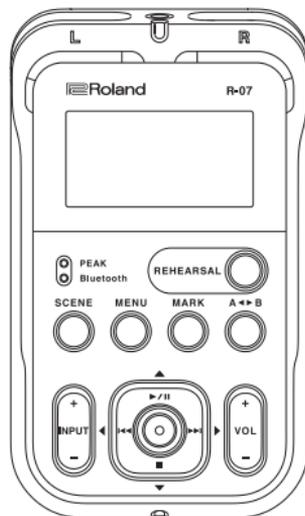


 Roland



R-07

High Resolution Audio Recorder

取扱説明書

 Bluetooth®

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

パッケージ内容の確認

R-07 は、以下のものを付属しています。パッケージを開けたら、すべてのものが入っているか確認してください。不足している場合は、お買い上げになった販売店までご連絡ください。

R-07 本体

microSD カード

R-07 本体にセットされています。R-07 で録音したり再生したりするときに必要なメモリー・カードです。

電池（アルカリ電池（単3形）×2）

取扱説明書

本書です。常に手元において、いつでも参照できるようにしてください。

安全上のご注意チラシ

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前にこのチラシをよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

ローランド ユーザー登録カード

R-07 のユーザーとして登録していただくための登録カードです。

登録カードに記載されている登録方法をお読みになり、必ずユーザー登録をしてください。

保証書

R-07 本体の保証書です。保証期間内に R-07 の修理を受ける際に必要ですので、記載事項を確認の上、大切に保管してください。

PDF マニュアル（Web からダウンロード）

- リファレンス・ガイド

本機のすべての機能について解説しています。

PDF マニュアルの入手方法

1. パソコンなどで下記の URL を入力します。

<http://www.roland.co.jp/manuals/>

2. 製品名「R-07」を選んでください。

© 2017 ローランド株式会社

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 2036-1

各部の名称とはたらき

内蔵マイク

本体内蔵のステレオ・マイクです。

ディスプレイ

R-07 のさまざまな情報を表示します。

PEAK インジケーター

入力の音量が大きすぎる場合に点灯します。

Bluetooth インジケーター

Bluetooth スピーカーやヘッドホンに登録する (P. 10) ときに点滅します。

Bluetooth スピーカーやヘッドホンが接続されているときや、リモコンをオンにした (P. 16) ときに点灯します。

[SCENE] ボタン

シーン設定 (P. 12) に切り替え、録音に合わせた設定を読み出すことができます。

長押しすると、ディスプレイの上下が反転します。

[MENU] ボタン

録音や再生に関する設定や日時の設定など R-07 の各種設定をします。

リモート・インジケーター

動作	状態
点灯	録音中
点滅 (ゆっくり)	録音待機状態
点滅 (はやい)	過大入力

[REHEARSAL] ボタン

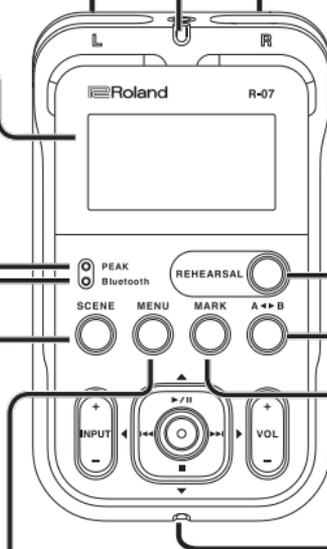
自動的に、適切な入力レベルを設定します。

[A ◀▶ B] ボタン

ファイルの途中の 2 点間 (A-B の区間) を繰り返し再生させることができます。ファイル内に A マークと B マークをつけると、A マークと B マークの間をリピート再生します。1 回押すと A マークがつき、もう 1 回押すと B マークがつきます。

[MARK] ボタン

WAV ファイルのとき、押すと任意の位置にマークを付けることができます。マークの付いた位置で押すと、マークが消えます。



各部の名称とはたらき

[▶/||] ボタン

再生を開始させたり、再生や録音を一時的に停止させたりします。

また、ディスプレイ上のカーソル位置を上方向に移動させたり、選択項目の値を変更したりします。

[◀◀] ボタン

ファイルの頭出しをしたり前のファイルを選択したりします。マークが付いたWAVファイルでは、前のマークに戻ります。押し続けると、その間ファイルを早戻します。

再生中/停止状態のどちらの状態でも操作できます。

また、ディスプレイ上のカーソル位置を左方向に移動させたり、選択項目の値を変更したりします。

INPUT [+] [-] ボタン

内蔵マイク、MIC/AUX IN 端子から入力される音声の大きさを調節します。

[+] ボタンを押すと、入力される音量が大きくなります。[-] ボタンを押すと、入力される音量が小さくなります。

[■] ボタン

再生や録音を停止します。

また、ディスプレイ上のカーソル位置を下方向に移動させたり、選択項目の値を変更したりします。

[▶▶] ボタン

次のファイルを選択します。マークが付いたWAVファイルでは、次のマークに進みます。押し続けると、その間ファイルを早送りします。

再生中、停止状態のどちらの状態でも操作できます。

また、カーソルの右キー（カーソルを右方向に移動）として機能したり、選択項目の値を変更したりします。

VOL [+] [-] ボタン

内蔵スピーカー、PHONES 端子やBluetooth 機器から出力される音量を調節します。

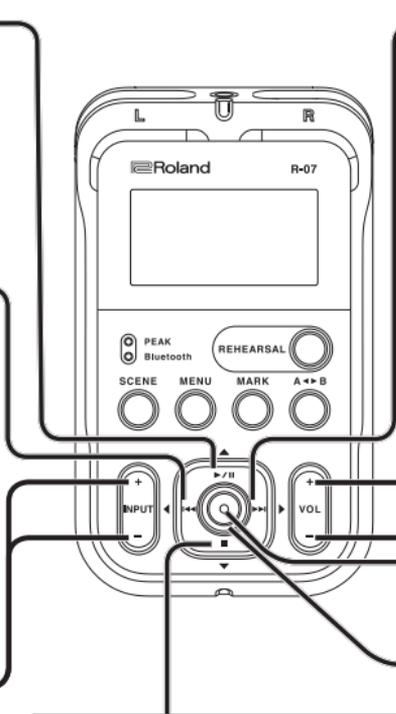
[●] ボタン

録音待機、録音開始します。

また、選択項目を確定します。

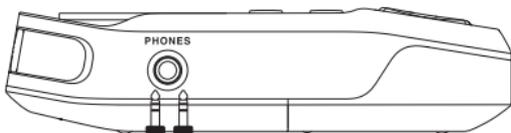
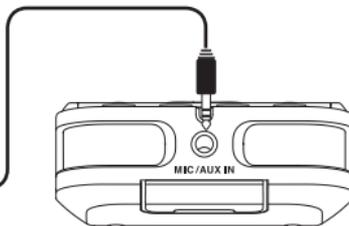
REC / PLAY インジケーター

動作	状態
赤点灯	録音中
赤点滅	録音待機状態
緑点灯	再生中
緑点滅	再生一時停止状態



MIC/AUX IN 端子

外部マイク、オーディオ機器や電子楽器を接続するときに使用します。



PHONES 端子

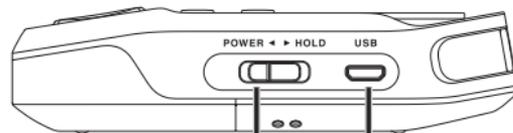
ヘッドホンや外部スピーカーを接続します (P. 10)。



[POWER] スイッチ

スイッチを POWER 側にスライドさせて、電源のオン/オフを切り替えます (P. 8)。電源をオンにした状態でスイッチを右側に固定すると、HOLD がオンになります。

HOLD をオンにしておくと、すべてのボタンの操作が無効になり、誤操作の防止に役立ちます。HOLD をオンにしても、モバイル機器からは操作できません (P. 16)。



USB 端子

市販の USB ケーブルでパソコンと接続します。R-07 で録音したファイルをパソコンに移動したり、パソコンから R-07 に WAV や MP3 をコピーして再生させたりすることができます。

※ 充電専用のマイクロ USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

各部の名称とはたらき

microSD カード・スロット

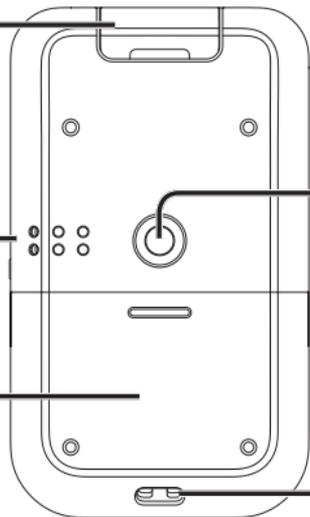
microSD カードを差し込むスロットです。工場出荷時には microSD カードがセットされています。

内蔵スピーカー

本体内蔵のスピーカーです。

電池ケース

電池を入れます (P. 8)。



三脚取り付け用ネジ穴

市販のカメラ用三脚が取り付けできるネジ穴です。

(ネジ穴のサイズは 1/4 インチです。)

ストラップ取り付け穴

市販のストラップを取り付けることができます。

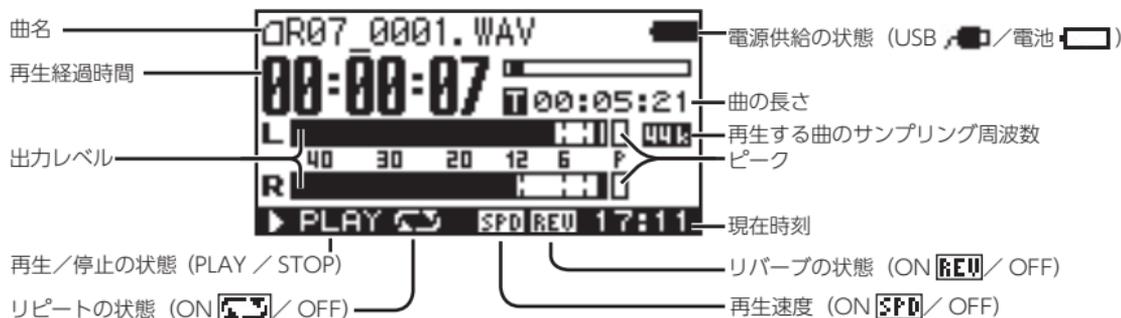
microSD カードについて

※ メモリー・カードのメーカーや種類によっては、本機で正しく録音や再生ができないことがあります。

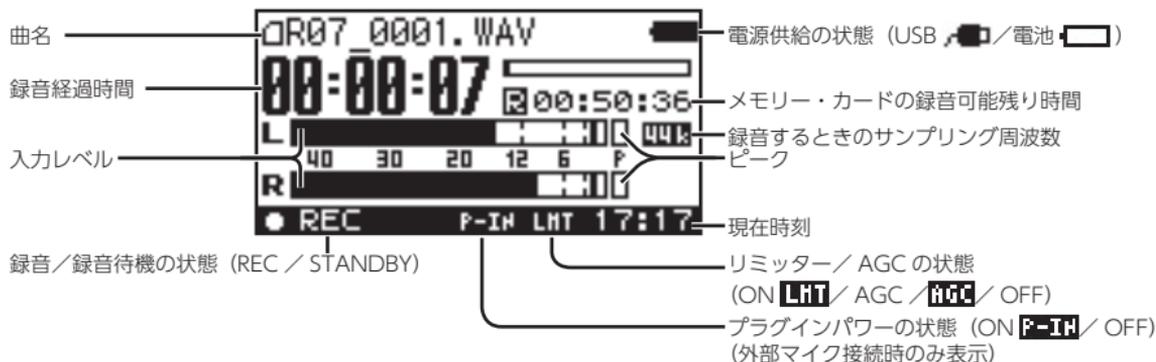
基本画面

基本画面に表示される主なアイコンや情報について説明します。

再生/停止



録音



準備する

1. 電源を入れる／電源を切る

使用できる電池の種類

- アルカリ電池（単3形）
- 充電式ニッケル水素電池（単3形）

ご注意！

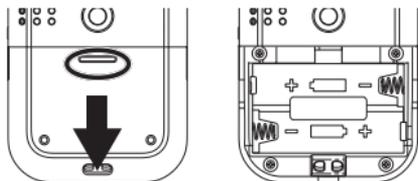
R-07 本体で充電式ニッケル水素電池を充電することはできません。お使いの充電式ニッケル水素電池専用の充電器を用意してください。

1. 電源がオフになっていることを確認します。

電源がオンになっている場合は、オフにします。R-07の[POWER]スイッチをPOWER側にスライドさせると、電源のオン/オフを切り替えられます。

2. 本体背面にある電池ケースの蓋を開けます。

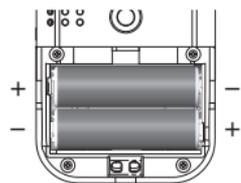
R-07を裏返し、電池ケースの丸で囲った位置を押さえながら蓋を下方方向にスライドさせます。



※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

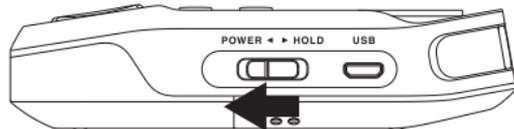
3. 電池をセットします。

+/-極を間違えないようにして、電池（単3形）2本を電池ケースに入れます。

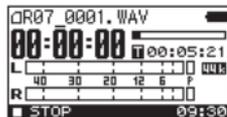


4. 電池ケースの蓋を閉めます。

5. [POWER] スイッチを POWER 側に数秒間スライドさせて、電源をオンにします。



電源がオンになると、ディスプレイに下のような画面が表示されます。これを「基本画面」といいます。



6. 電源をオフにするときは、再度 [POWER] スイッチを POWER 側に数秒間スライドさせます。

R-07 を電池でお使いになるときの注意

- 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。「安全上のご注意」「使用上のご注意」（「安全上のご注意」チラシ）に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。
- 新しい電池と一度使用した電池や違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときは、電池の液漏れ防止などのためにも本体から電池を抜いておくことをおすすめします。
- 液漏れを起こした場合は、柔らかい布で電池ケースについた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。また、漏れた液が身体についた場合は、皮膚に炎症を起こす恐れがあります。また目に入ると危険ですのですぐに水でよく洗い流してください。
- 電池を、金属性のボールペン、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に携帯したり、保管したりしないでください。

省電力機能

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（Auto Off 機能）。

自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください。詳しくはリファレンス・ガイド（PDF）をご覧ください。

- 電源が切れると編集の設定は失われます。残しておきたい設定はあらかじめ保存しておいてください。
- 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください（P. 8）。

電池残量表示

- 電池容量が少なくなると、ディスプレイの右上に電池残量不足のアイコン  が表示されます。早めに新しい電池と交換してください。

電池容量が少ないまま使い続けると、「バッテリーが低下しています」と表示され、最終的に R-07 のすべての機能が停止します。

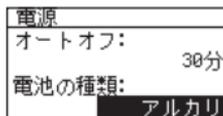
電池寿命（アルカリ電池使用時）

連続再生時	約 15 時間
連続録音時	約 15 時間

- ※ 上記の電池寿命は目安です。使用環境や使いかたによって電池寿命は変わります。

2. 電池の種類を設定する

- [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、 /  で「電源」を選んで、 を押します。
-  /  で電池の種類の下にカーソルを合わせ、 /  で使用している電池を選択します。
- [MENU] を 2 回押して、基本画面に戻ります。



3. 日付と時刻を設定する

初めて電源を入れたときは、次の手順で内蔵時計を設定してください。ここで設定した日時は、録音したファイルの情報（タイム・スタンプ）として利用されます。

1. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、
[▶/II] / [■] で「時計」を選んで、[●] を押します。

ご注意！

- 内蔵時計は電池から電力を供給されて動作します。電池が抜かれた状態が数分続くと内蔵時計の設定は元に戻ってしまいます（初期状態）。この初期状態で電源をオンにすると「日付／時刻を設定してください」のメッセージが表示されます。
- 「日付／時刻を設定してください」が表示されたら、再度日付と時刻を設定してください。

2. 日付と時刻を設定します。

[◀◀] / [▶▶] で、カーソルを左右に動かします。

カーソルが変更したい文字の位置にきたら、[▶/II] / [■] で日付と時刻を変更し、[●] を押して確定します。



3. [MENU] を押して、基本画面に戻ります。

4. ヘッドホンを使う

R-07にはスピーカーが内蔵されています。そのままでも再生音を聞くことができますが、ヘッドホンを接続して聞くこともできます。また、BluetoothヘッドホンとR-07を接続して、無線で再生音を聞くこともできます。

- ※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

Bluetooth® ヘッドホンと接続する

対応コーデック：SBC、Qualcomm® aptX™ audio、Qualcomm® aptX™ Low Latency audio

Bluetooth 機器を登録する（ペアリング）

「ペアリング」とは、使いたいBluetooth機器を本機に登録する（お互いに認証する）ための手続きです。

ペアリングが済んだモバイル機器は、再度ペアリングする必要はありません。R-07 起動後は前回接続していた機器を探し、自動で接続します。

1. 接続したいBluetooth機器を本機周辺に置き、電源を入れてペアリング・モードにします。

詳しくは、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

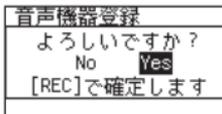
2. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、
[▶/II] / [■] で「Bluetooth」を選んで、[●] を押します。

3. [▶/||] / [■] で「音声機器登録」を選び、[●] を押します。

4. [◀◀] / [▶▶] で「Yes」を選び、[●] を押します。

「ペアリング中...」と表示され、本機は Bluetooth 機器からの応答を待ちます。

ペアリングが成功すると「完了しました」と表示されて、Bluetooth 機器から音を出力できます。



ペアリング済みの Bluetooth 機器を接続する

1. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、[▶/||] / [■] で「Bluetooth」を選び、[●] を押します。

2. [▶/||] / [■] で「音声機器接続」を選んで、[●] を押します。

3. 再生する機器を選び、[●] を押します。



4. [◀◀] / [▶▶] で「Yes」を選び、[●] を押します。

「接続中...」と表示され、本機は Bluetooth 機器と接続を開始します。

接続が成功すると「完了しました」と表示されて、Bluetooth 機器から音を出力できます。

1. 目的に合わせた設定を読み出す

R-07には、録音目的に合わせた設定が用意されています。この設定を「シーン」と呼びます。

1. [SCENE] を押して「シーン」画面を表示させ、[◀◀] / [▶▶] でシーンを変更します。

シーン	説明	サンプルレート	録音モード	リミッター	ローカット	入力レベル
OFF	手動で設定するときを選びます。					
音楽 HiRes	大音量でないバンド演奏や、アコースティック楽器の演奏に適した高音質の設定です。	96kHz	WAV-24bit	ON	OFF	60
音楽 CD	CD品質の設定です。	44.1kHz	WAV-16bit	ON	OFF	60
音楽長時間	長時間録音用の設定です。	44.1kHz	MP3-192kbps	ON	OFF	60
大音量ライブ	ライブハウスなどでの大音量の演奏に適した設定です。	44.1kHz	WAV-24bit	OFF	OFF	25
大音量練習	練習スタジオなどでの大音量の演奏に適した長時間録音用の設定です。	44.1kHz	MP3-192kbps	OFF	OFF	25
楽器	楽器を近くで録音するのに適した設定です。	44.1kHz	WAV-24bit	ON	OFF	60
ボーカル	ボーカルを近くで録音するのに適した設定です。	44.1kHz	WAV-24bit	ON	100Hz	60
会議	会議、講義、スピーチなど、音楽用途以外の録音に適した設定です。	44.1kHz	MP3-128kbps	AGC	200Hz	自動
野外	野鳥の鳴き声や川のせせらぎなど、自然の音を録音するのに適した設定です。	96kHz	WAV-24bit	ON	100Hz	80

シーンを選んだあとでも、サンプルレート、録音モード、リミッター、ローカットと入力レベルの値は変更できます。変更した設定を保存することもできます。

変更した設定の保存のしかたや、リミッターやローカットについては、リファレンス・ガイド (PDF) をご覧ください。

2. 録音の音質を設定する

録音する音質を設定することができます。

音質設定はサンプリング周波数と録音モードの組み合わせで設定します。音質によってファイルのサイズが異なり、microSDカードに録音できる時間も異なります。

音質を優先するか録音時間を優先するかなど、目的に合った設定をしてください。

1. 「シーン」画面で、**[▶/II]** / **[■]** でサンプルレートの行にカーソルを合わせ、**[◀◀]** / **[▶▶]** でサンプルレートの値を変更します。

シーン:	音楽HiRes
サンプルレート:	96.0kHz
録音モード:	WAV-24bit
リミッター:	ON
ローカット:	OFF

サンプルレート	44.1kHz、48.0kHz、88.2kHz、 96.0kHz (初期値)
---------	---

※ 88.2kHz、96.0kHz のとき、録音モードで WAV-16bit と WAV-24bit 以外は選べません。

2. **[▶/II]** / **[■]** で録音モードの行にカーソルを合わせ、**[◀◀]** / **[▶▶]** で録音モードの値を変更します。

シーン:	音楽HiRes
サンプルレート:	96.0kHz
録音モード:	WAV-24bit
リミッター:	ON
ローカット:	OFF

録音モード	2xWAV-16bit、2xWAV-24bit、 WAV+MP3、MP3-64kbps、 MP3-96kbps、MP3-128kbps、 MP3-160kbps、MP3-192kbps、 MP3-224kbps、MP3-320kbps、 WAV-16bit、WAV-24bit (初期値)
-------	---

※ 2xWAV-16bit、2xWAV-24bit、MP3 と WAV+MP3 は、サンプリングレートが 44.1kHz、48.0kHz のときしか選べません。

※ WAV+MP3 は、WAV-16bit、MP3-128kbps 固定になります。

3. **[SCENE]** を押して、基本画面に戻ります。

3. 入力レベルを調節する

ここでは、リハーサル機能を使った手順を紹介します。

メモ

手動やリミッター / AGC を使って調節することもできます。詳しくはリファレンス・ガイド (PDF) をご覧ください。

※ リミッター / AGC が AGC に設定されているときは、リハーサル画面は表示されません。

1. **[MENU]** を押して「メニュー」画面を表示させ、**[▶/II]** / **[■]** で「入力」を選んで、**[●]** を押しします。
2. **[▶/II]** / **[■]** でリハーサル時間の行にカーソルを合わせ、**[◀◀]** / **[▶▶]** で時間を設定します。

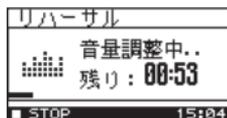
入力	
ローカット周波数:	OFF
リハーサル時間:	1分

リハーサル時間	マニュアル、30 秒、1 分 (初期値)、3 分、 5 分
---------	----------------------------------

3. **[MENU]** を 2 回押して、基本画面に戻ります。

4. 録りたい音源にマイクを向けて、[REHEARSAL] ボタンを押します。

設定したリハーサル時間内の最大の音量に合わせて、入力レベルが自動的に設定されます。また、同時に適切なマイクの感度が検出されます。



楽器演奏やボーカルなど、音楽の演奏を録るときは楽曲の一番音量の大きい部分を演奏するとよいでしょう。

リハーサル時間をマニュアルに設定している場合は、**[■]** を押してリハーサルを終了します。

4. 録音する

1. **[●]** を押します。

REC / PLAY インジケーターが赤く点滅して、録音待機状態になります。

2. **[●]** または **[▶/II]** を押します。

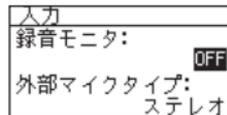
REC / PLAY インジケーターが赤く点灯し、録音が始まります。

メモ

録音を始めてから [POWER] スイッチを HOLD 側に固定しておく、ボタンが誤って押されても録音が止まったり入力レベルが変わったりしません。

ご注意!

- 外部スピーカーを接続したまま録音すると、ハウリングを起すことがあります。「録音モニタ」を OFF にすると、ハウリングを起さないようにすることができます。



- MIC/AUX IN 端子にマイクや機器を接続している場合は、内蔵マイクは使用できません。内蔵マイクを使用する場合には、MIC/AUX IN 端子に何も接続しないでください。
- 録音中は電源をオフにすることができません。一度録音を停止してから電源をオフにしてください。

3. **[■]** を押して、録音を停止します。

REC / PLAY インジケーターが消灯します。

ディスプレイには、録音したファイルが表示されます。

メモ

- 一時停止する場合は、**[▶/II]** を押します。一時停止を解除して録音を再開するときは、再度 **[▶/II]** を押してください。
- ファイル名は、R07_0001.WAV のように自動的に作成されます。0001 の部分は存在するファイル名の中で最も大きい番号に 1 加えた番号がつけられます。
- 録音設定でファイル名が「日付」に設定されているときは、録音した日時がファイル名になります。詳しくは、リファレンス・ガイド (PDF) をご覧ください。

R-07で再生する

1. 基本画面を表示させます。
2. [◀◀] / [▶▶] で、再生したいファイルを選びます。

メモ

ディスプレイに「No Song」と表示されている場合は、現在のフォルダ内にR-07で再生できるファイルがないことを意味します。

「No Card」と表示されている場合は、microSDカードがセットされていないことを意味します。

3. [▶/II] を押して、ファイルを再生します。

REC / PLAY インジケータが緑に点灯します。

再生中に [◀◀] を押し続けている間は早戻し、[▶▶] を押し続けている間は早送りします。それぞれのボタンから手を離すと、再生に戻ります。

ご注意!

再生中に早戻しや早送りの操作をするとき、microSDカードの種類によっては、データの読み込み速度が間に合わず、早戻しや早送りの動作が停止してしまうことがあります。

このようなときは、いったん [■] を押して再生を終了してください。その後、もう一度再生してください。

4. VOL [+][-] で、音量を調整します。
5. [■] を押して、再生を終了します。

REC / PLAY インジケータが消灯します。

パソコンで活用する

市販のUSBケーブルでパソコンと接続し、録音したファイルをパソコンに転送します。

- ※ パソコンへのファイルの転送方法については、リファレンス・ガイド (PDF) をご覧ください。

録音したファイルをパソコン上の音楽制作用のDAWやビデオ編集ソフトなどで利用することもできます。取り込み可能なフォーマットや、取り込み方はお使いのソフトウェアの取扱説明書などをご覧ください。

オーディオCDを作成する

ローランド CD-2 シリーズのようなオーディオCDを作成する機器を利用すると、R-07で録音したファイルからオーディオCDを作ることができます。CD-2シリーズについて、詳しくはローランドのホームページをご覧ください。

- ※ オーディオCDを作る場合はサンプルレートを44.1kHz、録音モードをWAV-16bitに設定してください。シーン設定の「音楽CD」を利用すると簡単に設定できます (P. 12)。

モバイル機器から操作する

Bluetooth® 機能を使い、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器から R-07 を遠隔操作できるようになります。

※ iOS と Android に対応したアプリです。

1. アプリ[R-07 Remote]をインストールする

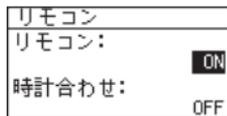
1. モバイル機器の web ブラウザーから、以下の URL にアクセスします。

<http://roland.cm/r-07>

表示されたページから、お使いのモバイル機器に合ったアプリをインストールしてください。

2. R-07を設定する

1. [MENU] を押して「メニュー」画面を表示させ、**[▶/II]** / **[■]** で「Bluetooth」を選んで、**[●]** を押しします。
2. **[▶/II]** / **[■]** で「リモコン」を選び、**[●]** を押しします。
3. **[▶▶]** を押して、リモコンを ON にします。
Bluetooth インジケーターが点灯します。
4. [MENU] を 3 回押して、基本画面に戻ります。



3. モバイル機器を設定する

1. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。



メモ

操作説明は iPhone を使った場合の一例です。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

※ モバイル機器の Bluetooth 設定に表示された「R-07」をタップしないでください。

4. R-07 Remoteを起動する

1. 接続したいモバイル機器を本機周辺に置きます。

メモ

本機を複数台お持ちの場合、接続する機器のみ電源を入れてください（他の機器の電源は切ってください）。

2. R-07 Remote を起動します。

初めて R-07 Remote を起動したときや R-07 の設定を初期化したときは、表示された R-07 をタップします。

接続が完了すると、Bluetooth インジケーターが点灯します。